

令和4年度事業報告

【事業実績の概要】

項目	今年度	前年度
正会員数	598人 (入会59人、退会73人)	612人 (入会67人、退会78人)
粗入会率	4.32%	4.37%
賛助会員	68団体 (入会1、退会4)	71団体 (入会5、退会9)
契約金額	322,259,581円	330,998,640円
うち一般事業	252,767,558円	252,429,592円
派遣事業	69,492,023円	78,569,048円
契約件数		
一般事業	4,919件	5,034件
派遣事業	43件	49件
就業延日人員	99,978人日	106,445人日
うち一般事業	85,470人日	90,315人日
派遣事業	14,508人日	16,130人日
就業実人数	710人	717人
うち一般事業	559人	562人
派遣事業	151人	155人
就業率(一般)	93.5%	91.8%
傷害事故件数	0件	0件
賠償事故件数	0件	1件

正会員数は、多くの会員の協力による友人、知人への入会勧誘や2月から3月の入会促進キャンペーンなどの取組みを進めましたが、全国的な少子高齢化や企業の定年延長、再雇用の定着等による若年層入会の減少傾向に加え、令和2年から続く新型コロナウイルス流行の影響もあり、対前年比で14人が減少し598人となりました。

契約金額については、新型コロナウイルス流行の影響から一定程度回復してきてはいるものの諸物価高騰などの要因もあり受注件数が伸びず、令和3

年度の実績と比べると、一般事業で約338千円の微増、派遣事業で約9,077千円の減、全体では約8,739千円の減となっています。

傷害事故については、平成29年7月1日から無事故が継続しており、令和4年度末日現在で、無事故継続は2,099日となっています。

以下、令和4年度事業計画で掲げた項目に沿って、実施状況を報告します。

1 新会員の入会促進

入会説明会の開催や広報誌、ホームページでの会員募集のほか、次の取り組みを実施しました。

(1) 会員による入会勧誘の推進

令和2年度から取り組んでいる会員紹介カードによる友人、知人への入会勧誘を継続して推進しました。その結果、会員の紹介による入会者は、25名となっています。

(2) 入会促進キャンペーンの実施

2月と3月をキャンペーン期間に設定し、市広報誌への広告掲載や3月4日には、事業部会委員によりショッピングモールVIOでキャンペーンチラシを配布するなど入会促進に努め、期間中に新たに17名が入会されました。

(3) 市の65歳到達者介護保険制度説明会での会員募集チラシ配布

市の健康長寿課の協力をいただき、毎月の説明会時にチラシを配布しました。

(4) 県シ連事業の活用

福井県シルバー人材センター連合（以下「県シ連」という。）が実施する「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用し、独自事業等の就業体験や広報おおのへの広告掲載を行い、入会促進に努めました。

2 就業機会の確保・拡大

(1) 就業相談会の開催、就業情報の提供

偶数月最初の平日に事業部会委員による就業相談会を開催するとともに、事務局だより「瓦版」（以下「瓦版」という。）の「就業会員募集」コーナー、ホームページの「就業情報」のページなどに就業者募集情報を載せ情報の提供に努めました。

(2) 会員一人ひとりの協力

就業機会の確保・拡大のため、会員一人ひとりが仕事の紹介や自身がシルバーを利用する運動を継続して行っています。今年度は、延べ54名の会員から協力がありました。協力会員のお名前を瓦版で紹介しています。

(3) 広報誌の活用

会員機関紙「シルバーアンテナおおの」（以下「シルバーアンテナおおの」という。）で市内事業所や市民の皆さまに会員が行っている仕事を周知して、会員の増加を図るとともに、就業機会の開拓・確保に努めました。

3 独自事業の推進

安定した就業機会の確保と地域住民の期待に応えるため、会員の創意と工夫により、18の独自事業を展開しました。

年間実績金額は、コロナ禍ではありましたが、6次産業化の事業を中心に回復基調となり、前年と比べて3,671千円増の59,378千円となりました。

また、地域住民等との交流では、11月3日に城下町東広場で「ねんりん秋市」を開催し、昨年度に引き続き、阪谷小学校児童が参加した野菜販売ブースや児童による星空プレゼンテーションも行われ大いに盛り上がりました。

さらに、コロナ禍でここ2年自粛していた事業も再開しました。昨年7月21日から8月2日に市内児童42名が参加して「ふるさとクラブ」を開催、10月2日には、荒島保育園児10名を招待して「栗の里」グループによる栗拾いイベントを開催し地域交流と情報発信を図りました。

※実施している独自事業

刃物研ぎ、ねんりん楽校、ふるさとクラブ、ねんりん工房、花の里クラブ、わら細工の里、栗の里、蕨生加工場、ねんりん茶屋の一そん、ふるさと畑、ねんりんの里本店、ねんりん朝市、ねんりんの里V I O店、まごころ食堂、の一そん工房、ばあばの工房、ココ・の一そん、さといもの里

4 安全・適正就業、健康増進活動の推進

(1) 安全・適正就業推進大会の開催

7月7日に有終会館において大会を開催し、28名の参加がありました。

大会では、県シ連合の安全就業担当者の講義や大野警察署から安全運転についての講話のほか、安全宣言などを行いました。

(2) 安全意識啓発

「瓦版」の「安全だより」コーナーでの事故発生状況や作業上の注意事項を掲載し安全意識の高揚を図るとともに、熱中症予防やヘルメット着用、凍結転倒防止の励行など適宜安全意識の啓発にも努めています。

交通安全標語入り立看板コンクールに手づくり看板を応募したほか、全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）主催の安全就業スローガンにも当センターから3作品を応募したところ、事務局の齋藤主事の「ただいまと いえる日常 事故ゼロで」が県シ連の推薦作品に選ばれました。

また、4人が1チームとなって交通安全の意識向上を図る、チャレンジ250に4チーム20名が参加、10月には県シ連主催のGPSを活用した「テレマティクスタグ」による安全運転診断に17名が参加、12月14日には有終会館で年末の交通安全講習会を開催し会員41名が参加するなど、安全運転の推進に努めました。

さらに、道路交通法令改正により10月から運転者の事前アルコールチェックが義務付けられたことから、当センターではアルコール検知器を新たに購入し公用車運転手の酒気帯び運転防止の確認を徹底しています。

(3) 安全・適正就業部会員によるパトロールの実施

屋内・屋外の就業状況について、安全・適正就業部会員による安全・適正就業パトロールを実施しました。「安全就業チェックリスト」により安全保護具を着用しているか、就業場所における安全確保がされているかなどの点検を行っています。

安全パトロール39箇所（県シ連との合同パトロールを含む。）

(4) 健康増進活動の推進

会員が健康で安心して働けるよう、日常健康管理や体力づくりへ向けた取り組みを実施しています。今年度は10月に健康大会を開催し会員29名が参加し健康増進に役立つ講義とチェアヨガで体を動かして日頃の健康への意識改善を図りました。

(5) 新型コロナウイルス感染対策の徹底

ワークプラザ及び各店舗における除菌、飛沫対策、3密回避に努めたほか、「瓦版」やセンターホームページを活用して、会員に継続した感染防止対策

の徹底を呼びかけました。

5 事業の普及啓発活動

センター事業の意義を社会に広く周知するため、種々の普及啓発活動を推進しています。

(1) 広報紙等の発行

「シルバーアンテナおおの」は、8月と1月に2回発行し、市民の皆さまにシルバー事業の情報発信を行いました。

「瓦版」は、2カ月に一度、奇数月に理事会や総務、事業、広報、安全適正就業、福利厚生各専門部会からの報告やお知らせ、独自事業の取組みなどを情報提供しており、会員の皆さまによりわかりやすく見ていただくため、昨年11月の第127号発行からカラー刷りでお届けしています。

(2) 「目で見えるシルバー」の作成

シルバー事業や各行事での会員の活動を写真で記録として残すとともに、ワークプラザねんりん内の会議室などに掲示するなど会員の活動状況の紹介に努めました。

特に今年度は、3年ぶりに開校した「ふるさとクラブ」での児童の体験活動の様子や、11月3日に開催した「ねんりん秋市」での阪谷小学校児童の生き生きとした様子やコメントを紹介しました。

(3) ホームページ、SNSの活用

職員がページの担当を分担し、シルバー人材センターの活動や魅力など多彩な情報を発信しています。またインスタグラム、フェイスブックにも取り組み、日々の活動情報等の発信にも努めました。

(4) 各種イベントやボランティア活動への参加

今年度は、コロナ禍でここ2年行われなかった各種イベントが再開され、5月22日の名水マラソン応援ボランティアや10月8日開催の「ふくい元気・シルバーフェスタ2022イン坂井」、今年2月の冬物語での雪見灯籠制作ボランティア、三大朝市や冬物語朝市の出店などに積極的に参加しました。

また、10月のシルバー普及啓発促進月間においては、10月29日に柳廻社拝殿周辺の草取り清掃ボランティアを実施しました。

6 地域班活動推進による会員連帯意識の高揚

地域班活動については、地域世話人が中心となって、情報の伝達、会員相互の交流を図り、ボランティア活動などに取り組んでいます。しかしながら今年度もコロナ禍の影響により、3か所の取組みに留まりました。

上庄1～4地区 上庄公民館周辺の清掃 令和4年7月30日（土）

大野1～7地区 有終会館及びワークプラザねんりん周辺の清掃

令和4年10月2日（日）

大野8～10地区 城下町東広場の清掃 令和4年10月30日（日）

地区懇談会は3年ぶりに、2月17日から2月28日までの間で、大野、下庄、乾側、小山、上庄、富田、阪谷、五箇、和泉地区の延べ9会場で開催しました。会員の参加人数は、延133人で、参加率は27.2%で、コロナ禍前の平成31年度の実績と比較しますと、1.7ポイント減少となりました。

7 財源の確保

シルバー人材センターの主たる運営財源は、正会員・賛助会員の会費と事業の受取事務費及び補助金から成り立っています。

(1) 会費（会員の拡大）

新会員の入会促進の取組みや賛助会員確保のため理事による事業所訪問を実施しました。

(2) 事務費（事業の拡大）

一般事業（請負・委託）の受注契約額は、会員の配分金、材料費と受取事務費で成り立っています。受注の確保や独自事業の開拓、労働者派遣事業の確保を進めた結果、一般事業の受取事務費はほぼ昨年度と同程度となりましたが、労働者派遣事業については、コロナ禍の影響により受注が伸びなかったことから、受取事務費と労働者派遣事業等受託収益との合計額は、対前年比で3,139千円の減となり、27,405千円に留まりました。

(3) 市への支援要請

全シ協総会で採択された要請書に基づき、8月19日に大野市長及び大野市議会議長に対し補助金等の継続支援について要請活動を行いました。

(4) 適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応

昨年度からインボイス制度導入に係るシルバー事業への特例措置適用に

ついて、全シ協をはじめ県シ連や全国のシルバー人材センターにより、国や自民党幹部、政府高官等への要望活動を進めてきましたが、特例措置は認められない結果となりました。

このことから、当シルバー人材センターが今後も持続的で安定した事業運営が行なえるよう財源の確保を図るため、新年度から受取事務費率を現行の10%から12%に見直すこととし、大野市や民間事業所等へ直接出向いての説明やお願いの文書により理解を求めるとともに、市民や会員の皆さまへ「シルバーアンテナ」や「瓦版」による周知を行い受取事務費率の見直しへの準備を進めました。

8 組織の強化

諸規程に沿った運営や継続した組織活動、意識啓発活動等に重点を置いた活動を行っています。

(1) 理事会は、7回開催し事業の現状等の把握・検討とセンター事業の推進に努めました。

また、各理事が事業所等を訪問し、シルバー事業について説明しながら賛助会員の加入促進に努めました。

(2) 「総務部会」、「事業部会」、「広報部会」、「安全・適正就業部会」、「福利厚生部会」の専門部会においては、それぞれ担当業務の企画・運営を行い、シルバー事業の推進に努めました。

(3) 地域班においては、地域世話人が中心となり地区懇談会やボランティア活動を通して地域班内の会員の交流を図るとともに会員相互の連帯を深めています。地区懇談会は、この2年コロナ禍で自粛していましたが、今年度から3年ぶりに再開し会員相互の意見交換を図りました。

(4) 職群班では、会員の共働・共助を基本とした連帯意識の高揚と自主・自立の実現を図り、安全作業と作業効果を高めるよう取り組んでいます。

特に、屋外作業の雪囲い班会議を開催し安全保護具の着装など安全就業基準についての認識を深めるよう努めました。

(5) センター行事等への積極的な参加が組織強化につながるとの観点から、ポイントカードの制度を推進しました。今年度はコロナ禍で自粛していた行事も再開したことから、達成ポイントも例年の10ポイントに戻して実施しました。ポイント達成者は24名となり、前年の7ポイント制と同人数となりました。

9 関係機関との連携

これまで全シ協や県シ連等が開催する会議や行事に参加するなど、積極的に他団体と連携に努めてきました。今年度は、これまでコロナ禍で自粛や中止となっていた行事や会議等も再開し始めた中で連携や交流を図りました。

(1) 全国シルバー人材センター事業協会関係

- ・総会 令和4年6月23日 書面による議決権行使
- ・シルボノス全国大会参加（講演会参加、オリジナル商品展示販売）

令和4年12月22日

- ・新任事務局長研修 令和4年8月30日～8月31日
- ・派遣元責任者講習会 令和4年9月27日（大阪会場）
- ・WEB会議（動画配信期間内に聴講）

会員拡大・就業開拓担当者会議 令和4年8月15日～28日

シルバー事業情報交換会議 令和5年3月3日～24日

(2) 北信越シルバー人材センター協議会関係

- ・定期総会 中止 書面表決書提出

(3) 福井県シルバー人材センター連合関係等

- ・総会 令和4年6月24日（福井県織協ビル）
- ・理事長会議

令和4年10月27日

令和5年2月6日（理事長・事務局長合同会議）

- ・事務局長会議

第1回 令和4年6月13日

第2回 令和4年9月15日

第3回 令和4年10月24日

第4回 令和5年2月14日

第5回 令和5年3月16日

- ・「ふくい元気・シルバーフェスタ2022イン坂井」

令和4年10月8日（ハートピア春江）

- ・職員派遣 1名 令和4年12月
- ・トップセミナー 令和4年6月24日（福井県織協ビル）
- ・安全・適正就業実務担当者会議

奥越ブロック会議 令和4年6月22日（永平寺SC）

全体会議 令和4年12月23日（福井県織協ビル）

- ・安全適正就業促進大会 令和4年7月28日（福井県織協ビル）
- ・若手職員研修会 令和4年8月25日（福井県織協ビル）（講演と参加）
- ・会計・経理担当者研修会 令和5年1月25日（WEB）
- ・労働者派遣業務担当者研修会 令和5年2月27日（福井県織協ビル）

（4）その他

- ・令和4年6月3日 福井県自治労自治研視察来訪
- ・令和4年6月17日 丹波篠山市シルバー人材センター役職員視察来訪
- ・令和4年6月29日 朝来市シルバー人材センター役職員視察来訪
- ・令和4年9月8日 射水市シルバー人材センター会員・職員視察来訪
- ・令和4年9月16日 狛江市シルバー人材センター役職員視察来訪
- ・令和4年11月18日 四国ブロックシルバー人材センター協議会
担当者研修会（講演）
- ・令和5年2月28日 石川県シルバー人材センター連合会
役職員研修会（講演）
- ・令和4年8月18日、23日 NRI 社会情報システム「ユーザー研修会」
(WEB)